

■ベリファイサンプルプログラムについて

CSharp Sample2 または VB Sample2 では、帳票OCRのメソッド・プロパティの使用例と、取得した情報を生かした表示・修正機能の推奨パターンを認識内容ごとに説明しています。

以下、推奨表示・修正機能について認識内容別に説明します。

(各種パス指定について)

サンプルソース中では、以下のパス指定が定数として記述されていますので、環境にあわせて変更する必要があります。

定数名	内容	デフォルト
DIR1	帳票OCRインストールパス	C:\Program Files\GLORY\GLYOCR4
DIR2	サンプルプロジェクトパス	C:\Program Files\GLORY\GLYOCR4\FDic\サンプル
SHEETNAME	テスト用イメージファイルパス	C:\テストイメージ\入会申込書（記入済み）.jpg

【英数カタカナOCR（個別枠あり）】

フィールドイメージは文字・背景・定型情報の3値イメージを使用します。セグメント領域、結果を表示（結果はセグメント単位で表示）し、信頼度が低いセグメント結果は注目できるように色を変えて表示します。

セグメント領域内右クリックで、認識候補文字の選択ができます。

図 1. 推奨表示

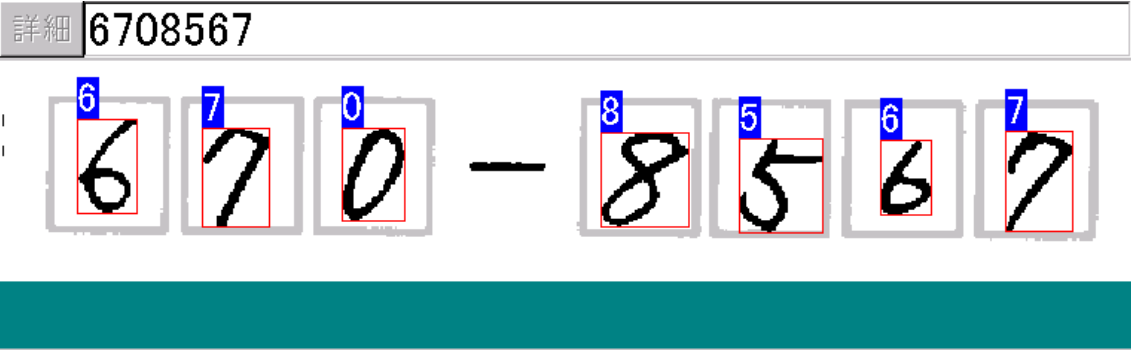
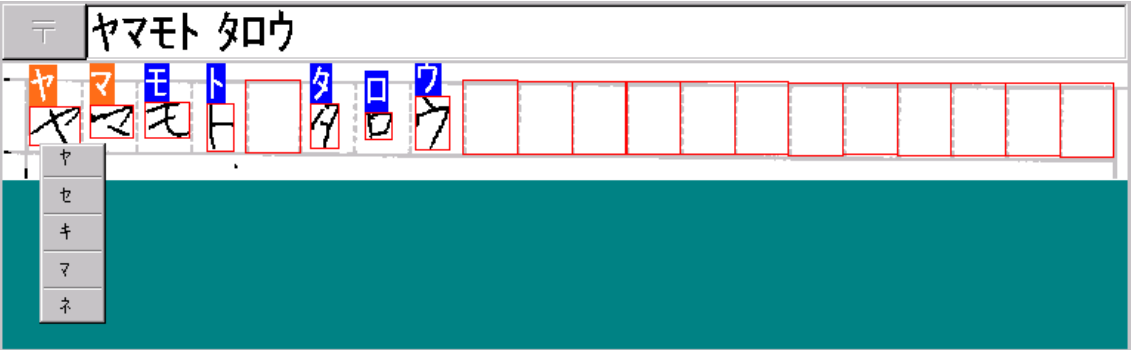


図 2. 候補文字選択



(黒：記入文字 白：背景 グレー：定型情報)

【英数カタカナ（個別枠なし）・
知識辞書・漢字OCR（住所・名前・一般辞書・ユーザー定義辞書）】

フィールドイメージは定型情報なしの場合は濃淡イメージ、定型情報がある場合は文字・背景・定型情報の3値イメージを使用します。

イメージ上右クリックで、認識候補文字列の選択ができます。

図 3. 推奨表示

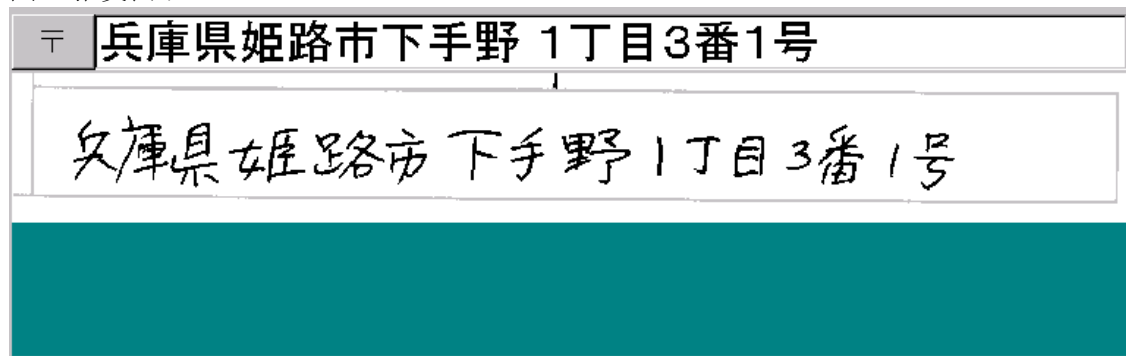
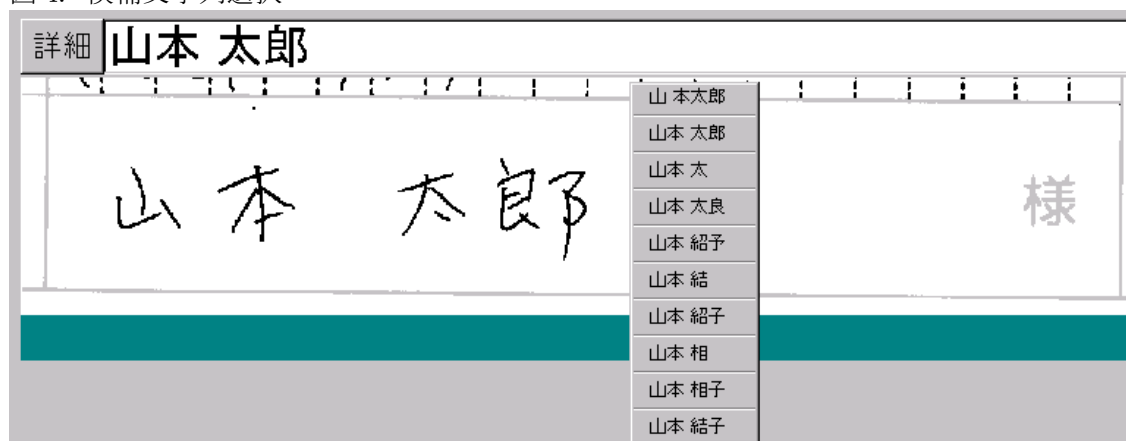


図 4. 候補文字列選択



（黒：記入文字 白：背景 グレー：定型情報）

名前認識の場合は、候補文字の選択が可能です。候補文字を参照する場合は「詳細」ボタンを押します。（詳細は次頁参照）

住所認識の場合で、郵便番号から住所変換する際は「〒」ボタンを押します。（詳細は次々頁参照）

<名前詳細>

フィールドイメージは文字・背景・定型情報の3値イメージを使用します。セグメント領域、結果を表示（結果はセグメント単位で表示）し、信頼度が低いセグメント結果は注目できるように色を変えて表示します。

候補文字の選択は、セグメント領域内右クリック、候補文字列は、コンボボックスより選択します。
候補文字は、セグメントの違いによって異なっているため、正しくセグメント（文字切り出し）領域が表示されているときに選択を行います。

図 5. 名前認識 候補文字列選択

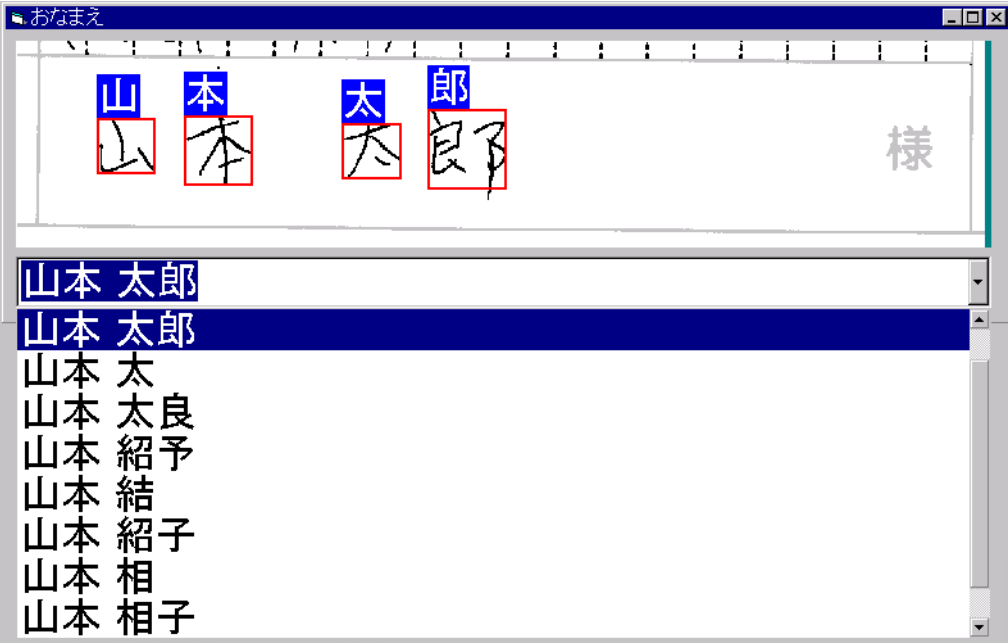
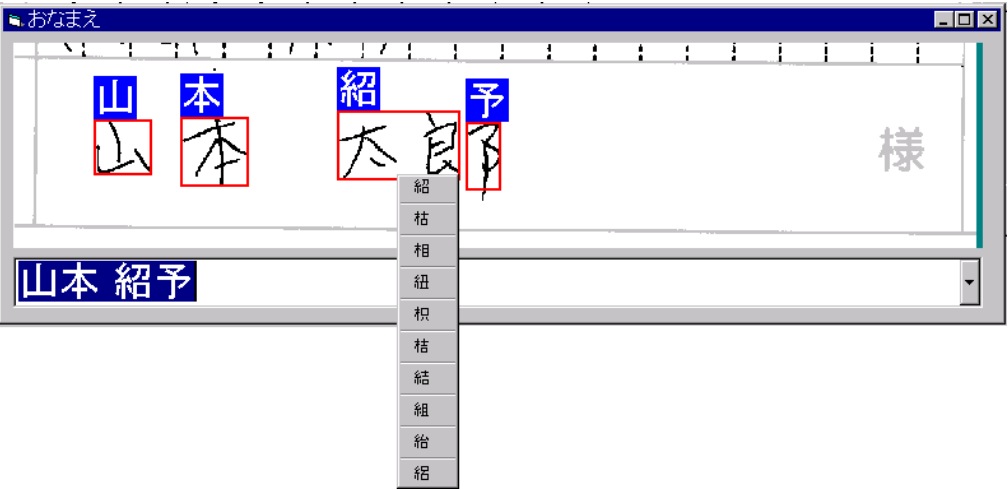


図 6. 名前認識 候補文字選択（セグメント成功時）



図 7. 名前認識 候補文字選択（セグメント失敗時）



<郵便番号変換>

郵便番号記入欄に郵便番号を入力し〔変換〕ボタンを押します。住所欄に住所を表示します。〔OK〕を押します。ダイアログ上での表示住所が結果テキストボックスに置き換わります。〔キャンセル〕を押した場合は、結果テキストボックスは置き換わりません。

図 8. 郵便番号変換

郵便番号変換

郵便番号

6700063

変換

OK

キャンセル

住所

兵庫県姫路市下手野

【マーク位置検出（マーク位置検出／全結果出力）】

フィールドイメージは定型情報なしの場合は濃淡イメージ、定型情報がある場合は文字・背景・定型情報の3値イメージを使用します。マーク位置を表示し、検出位置は注目できるよう太枠で表示します。修正は、イメージ上左クリックの度に ON／OFF が切り替わります。

図 9. マーク位置検出 推奨表示

詳細

男

男

女

図 10. 全結果出力 推奨表示

詳細

ON OFF

男

女

【英数カタカナ（定型情報なし）・バーコード ・ 認識処理なし】

バーコード認識／認識処理なし／定型情報なしの場合は濃淡以外のモードのイメージ取得ができないため、フィールドイメーは濃淡イメーを使用します。

図 11. 推奨表示 1



図 12. 推奨表示 2

